

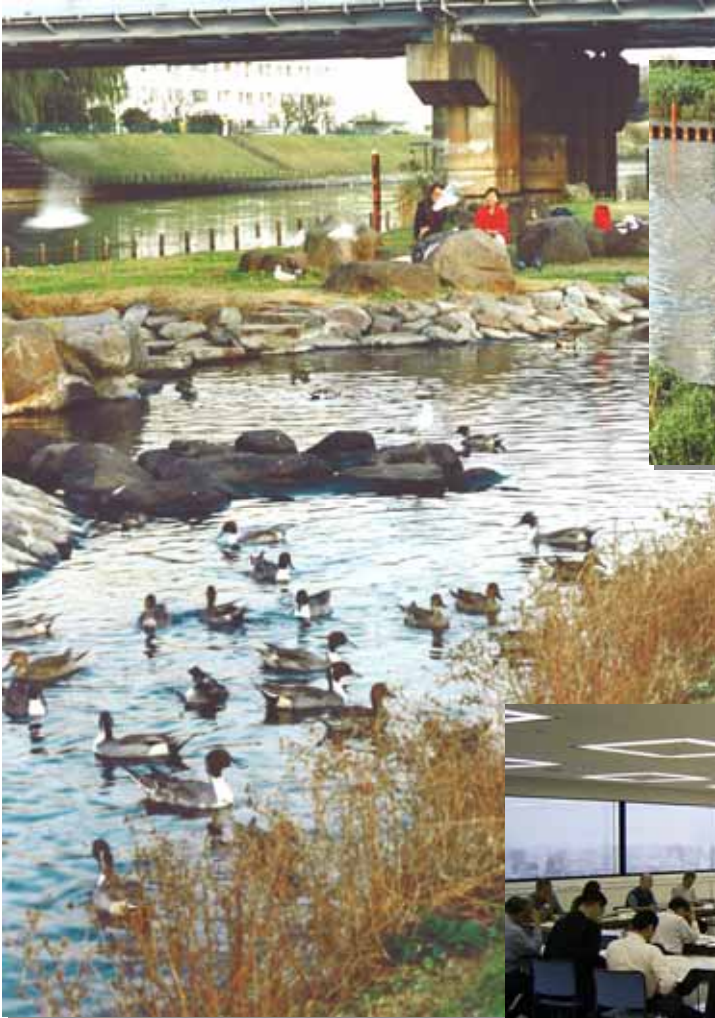
下町河川 Tomorrow

東京都の江東内部河川流域連絡会の情報紙（議事録）

平成16年10月12日（火）

第16回（第3期第6回）江東内部河川流域連絡会を開催

写真は小出都民委員より



旧中川 亀戸中央公園付近



旧中川 墨田区立花三丁目付近（未完成）

会議の様子



- ・「第16回（第3期第6回）江東内部河川流域連絡会」を、午後2時から午後4時30分の約2時間半、墨田区13階会議室131にて開催しました。
- ・都民委員11名と行政委員10名等が参加しました。 名簿は6ページ
- ・主にダイオキシン類対策、江東内部河川の思い、江戸川区旧中川河川環境整備計画、河川整備の完成形などについて討議しました。

流域連絡会の議事の概要

平成 15 年度都内環境中のダイオキシン類調査結果について

- ・ 大気、地下水、土壌については、すべての地点で環境基準を下回りました。
- ・ 公共用水域については、水質が 2 地点で、底質は 1 地点で環境基準を上回りました。
- ・ 水質は、中川と新中川で環境基準を上回りましたが、その後の追跡調査では、環境基準値以下でした。
- ・ 底質は、昨年も環境基準を超過した横十間川（天神橋：江東区・墨田区）で 410pg-TEQ/g となり、引き続き環境基準を上回りました。

（注 1）pg（ピコグラム）は 1 兆分の 1g。

（注 2）TEQ は検出されたダイオキシン類の量を一番毒性の強いダイオキシンの量に換算した値。

横十間川の底質のダイオキシン類対策について

東京都は、平成 15 年から横十間川の底質のダイオキシン類対策について、国、地元区と連携して検討してきましたが、対応方針をとりまとめました。

- (1) 緊急対策として、国と連携して平成 16 年度中に、底質のダイオキシン類濃度が土壌の環境基準である 1,000pg-TEQ/g を超える範囲を対象として、底質の拡散を抑制する原位置固化処理工事に着手します。
- (2) 1,000pg-TEQ/g 以下の範囲については、学識経験者・国・都・地元区で構成する「横十間川底質関連対策検討会」において引き続き検討のうえ、対策を講じます。



位置図

ダイオキシン類対策について意見交換

都民委員 行政委員

底質を固化すると、船が底をつく場合、しゅんせつできなくなるのでは。

川底を固める範囲は、現在も水深が浅い所で、川の西側のみです。船は、川の東側をこれまでと同じように通れます。

固化した後、将来とも現地で固化したままか、外部へ持ち出すのか。

今回行うのは緊急対策です。今後については、横十間川は護岸整備を予定しているので、併せて検討したいと考えています。

固化工事と計画水深との調整はどのように考えているのか。水上交通事故の予防策として、かなり下げて固めてはどうか。

将来の計画水深まで深くする際に支障となる固化したものの処分方法については、今後とも検討していきます。また、固化工事による水上事故が起こらないよう対策を検討します。

江東内部河川の利用について

江東内部河川整備計画図の説明の後、都民委員から「江東内部河川の利用について」の提案と事務局から「河川の水位差を活用したマイクロ水力発電について」の報告が行われました。これらについては、引き続き検討していきます。

江東内部河川の利用について

1.位置付け

江東内部河川は隅田川と荒川に挟まれた江東地区の潮入式回遊庭園の中核をなす。

2.目標

人 - ふれあいとやすらぎの場とする。

環境 - 水質、景観の維持向上に努める。

観光 - 沿川住民ばかりでなく都心に残る自然景観を利用して都市型観光の拠点とする。

3.利用の形態

(1)定期船の就航（両国・隅田川 小名木川 ゆりのき橋・旧中川）

(2)旧中川にウォーキング・ランニングコースの設定

(3)旧中川七福神巡りコースの設定

(4)水位差を活かした水力発電（北十間川樋門 / 扇橋閘門）

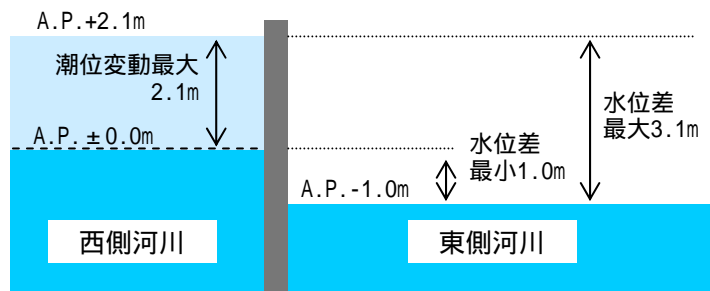
(5)北十間川西部を水泳場とアユ、水鳥の生息地

(6)旧中川の未整備区間にポイント設置（しじみ浜 / 棚田 / わさび田 / 人力水車）

(7)和船による舟遊び（小名木川と北十間川東部 / 柳を基本に花を楽しめる植栽）

河川の水位差を活用したマイクロ水力発電について

マイクロ水力発電とは、身近にある水利用施設でエネルギーとして活用されていない水力資源を有効に活用するもので、発電規模 100kW 以下の小規模な水力発電施設です。現在の技術では水位差 2.0m 以上が必要で、江東内部河川では、北十間川樋門、扇橋閘門等があげられます。



江東内部河川の利用についての意見交換

都民委員 行政委員

提案のように、北十間川、横十間川、小名木川と旧中川一体を大きな観光資源として考えることには賛成です。また、マイクロ水力発電については、人工的に 2.0m の水位をつくりだしてはどうか。

江東内部河川は、現在 A.P.-1.0m の水位にしていますが、その水位をさらに下げないといけないので、現実的には難しいと思います。

江東区が運行していた水上バスは、利用者が少ないなどで、民間会社へ売却しました。この民間会社も採算が合わず現在は運行していません。

船だけで考えるのではなく、観光の一つの事例として、ウォーキング、船の旅、お風呂、食べ物や七福神などを組み合わせれば、必ずしも赤字になるとは思えない。

現在の旧中川は、川の水がきれいになってサギなどの鳥が来たり、人々がボートを走らせている。川をもっと活かすような方向で検討してもらいたい。

横十間川の親水公園で和船の乗船会をしていて、船に乗るだけでなく最近はおこぎを体験するなど人が集まるようになった。小名木川と容易に行き来できれば、和船の出前ができるようになる。

江戸川区旧中川河川環境整備計画などについて

江戸川区から「旧中川河川環境整備計画の策定について」と事務局から「河川整備の完成形について」の資料説明が行われました。

江戸川区旧中川環境整備計画の策定について

<主旨>

旧中川は、現在6割ほど環境整備が進み、平井小松川地区のかけがえのない水辺空間となってきました。

そこで、江戸川区では、さらに多くの方々が親しみやすく、利用しやすい旧中川にしていくための計画を策定しました。

東京都の規制緩和により、桜などの高木が河川敷へ植えられるようになりました。そこで、積極的に植栽を行い、河川環境の充実を図ります。

整備が完了している区間については、現在の利用状況を踏まえ、より利用しやすいように充実を図ります。

未整備区間については、東京都の整備と整合性を図っていきます。

<全体の整備方針>

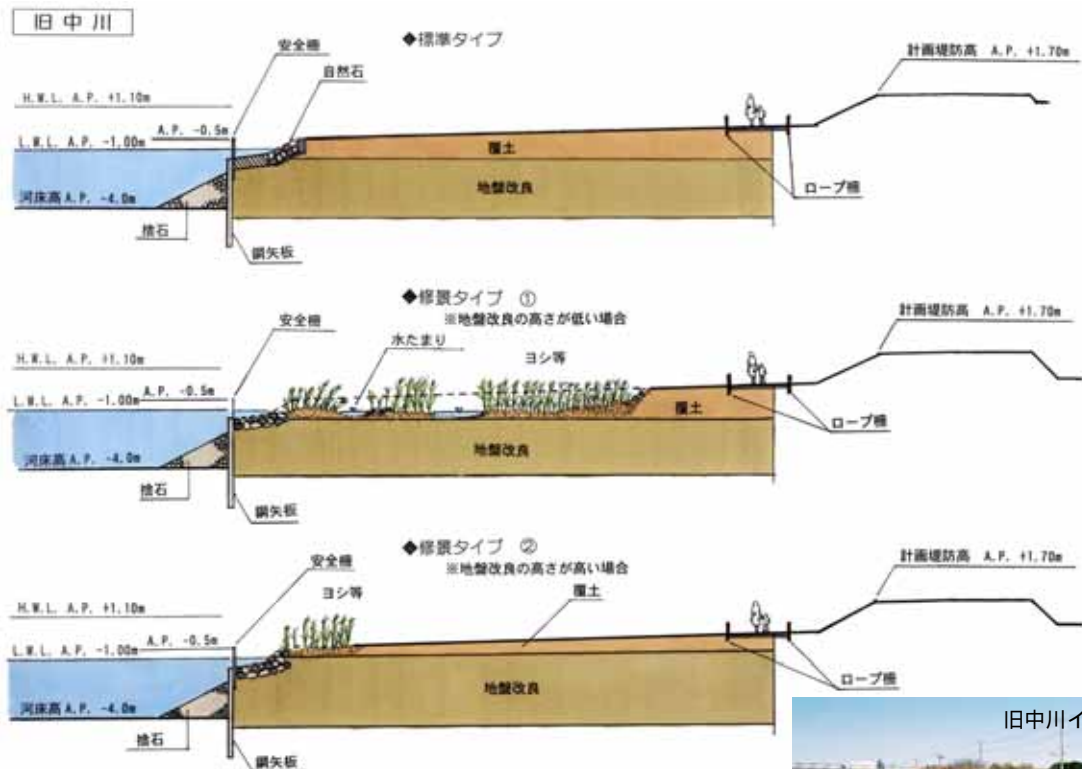
植栽について...高水敷及び堤防へ桜などの高木植栽を行っていきます。

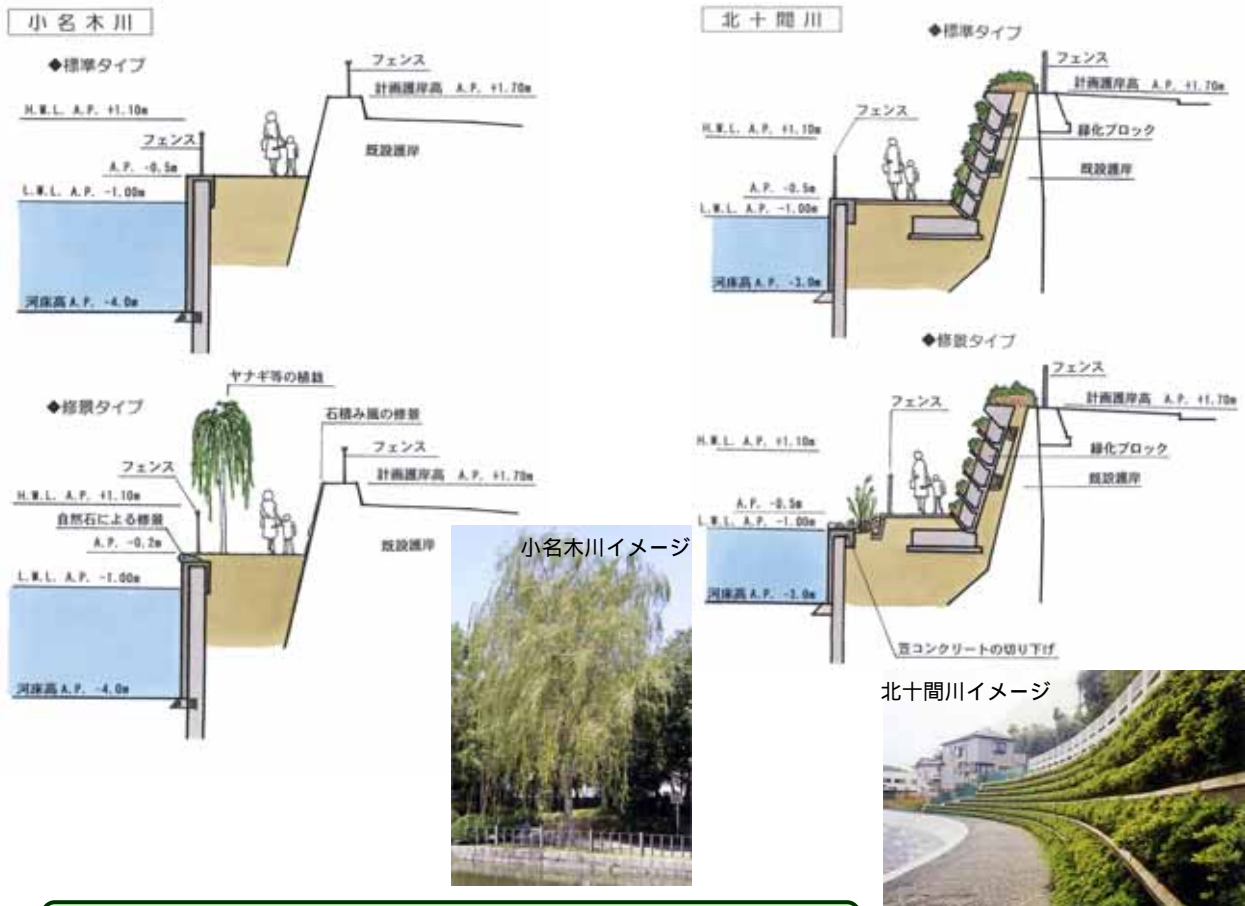
アクセス(階段・スロープ)...等間隔で河川敷へアクセスできるようにしていきます。

舗装通路...舗装通路を整備することで、災害時は緊急通路、通常時は車イスに対応できるようにしていきます。

照明...防犯対策として、可能な限り街路灯を設置していきます。

河川整備の完成形とイメージ写真





整備計画などについての意見交換

都民委員 行政委員

旧中川の河川敷がどう整備されたのか、木が育つのかも含めて知りたい。
 堤防前の河川敷は、昔の川底を掘った土を入れて、セメントで固めた地盤改良をしてあります。地盤改良の中まで植物が根付くのは難しいですが、その上に0.5~1.0mを覆土し、芝生等になっています。

旧中川の平井橋あたりは2年前と変わらないが、上下流のように整備されるのか。
 平井橋の南側で延長約150mを工事の予定があり、平成17年3月末には他と同じように完了する予定です。

サギなどの鳥が集まるアシ原や浅い所をもう少し増やしたらいいと思う。
 人々が遊ぶだけでなく、提案のような整備も進めていきます。

北十間川も川沿いの史跡を活かして整備されたい。
 区としても、河川空間と川沿いの史跡を結びつけるネットワークを考えることは重要課題だと認識しています。

北十間川の整備には、階段でなくて、スロープの方が人も集まりやすいと思う。
 スロープは、勾配が緩いため非常に長くなってしまいます。全ての箇所にスロープを設置することは難しいですが、所々に設置するように考えています。

小名木川沿いの貨物駅跡地に大規模商業施設が進出するので、それに合せてボートや船を利用して人を集めるためにいろいろ考えているので、これから要望を出していきたい。
 河川の環境を整備しても、ホームレスのブルーテントが並んだら、だれも寄りつかなくなってしまうが、どのように考えているか。

ホームレス対策は東京都全体でも課題となっているので、整備方法についても考慮していく必要があります。

昔の船着場のように史跡の近くなどの水辺を階段状にしたらどうか。スペースの関係でホームレス対策にもつながるのではないかと。

水際のフェンスの高さを低くするとともに、スロープの下りた所に船着場を考慮して扉をつけることを考えています。また、階段状の水際も検討していきます。

流域連絡会の今後の予定

次回の流域連絡会は、12月か来年1月の開催を予定しています。

江東内部河川流域連絡会・委員名簿

平成16年10月12日現在
敬称略 都民委員は区別・50音順

		住所・団体名	氏名
都民委員	個人	墨田区	慶野 とよ子
		墨田区	小出 義隆
		墨田区	田中 兼勝
		墨田区	増田 淳子
		江東区	菊地 進一
		江東区	黒木 正幸
		江東区	戸田 紀美子
		江東区	氷見 修三
		江戸川区	江頭 正恭
		江戸川区	谷川 貞夫
		江戸川区	山内 久二
		団体	江東区和船友の会
	江東区の水辺に親しむ会		須永 俣子
	東京海洋大学海洋工学部		深野 利幸
	江戸川区人力共漕会		五十井 恵
		所属・職名	氏名
行政委員	墨田区都市計画部都市整備担当都市整備課長	小山 季廣	
	江東区土木部水辺と緑の課長	井熊 章	
	江戸川区土木部計画課長	高井 聖	
	東京都環境局自然環境部水環境課長	芳賀 道子	
	東京都下水道局建設部土木設計課長	坂根 良平	
	東京都下水道局東部第一管理事務所ポンプ施設課長	飯塚 保	
	東京都建設局河川部指導調整課長	菊池 真	
	東京都建設局河川部副参事(総合治水・低地河川防災計画担当)	新谷 景一	
	東京都建設局第五建設事務所管理課長	大野 正實	
	東京都建設局江東治水事務所内部河川工事課長	清水 孝之	
東京都建設局江東治水事務所水門管理課長	大塚 好夫		

座長

連絡先：江東内部河川流域連絡会事務局（東京都江東治水事務所内部河川工事課内）

担当：小菅、長尾

TEL：03-3692-4945（直通） **FAX** 03-3696-6499